

1 単元名 「俳句をつくろう」

2 指導計画 (7時間扱い)

次時	学習活動・内容	指導上の留意点				
一 1	<p>名句を読み、お気に入りの表現を抜き出そう。</p> <p>1 範読を聞く。 2 音読をする。 3 暗唱をする。</p> <p>2 4 暗唱できるようになった俳句や気に入った表現をワークシートに書き抜く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節ごとに10句程度名句を用意し、繰り返し読ませ、暗唱させ、優れた表現に触れさせる。</li> <li>名句の優れた表現をワークシートに抜き出させ、語感や言葉の使い方についての意識を高める。</li> </ul>				
一 3	<p>言葉の使い方について考えよう。</p> <p>○○○ 例 例 季語を二つ以上重ねない。 夏の夜 今日も暑いな。 熱帯夜 季語が3</p> <p>俳句の約束 例 季語を入れる。季語を二つ以上重ねない。</p> <p>五 七 五 の十七音でつくる。</p>	<p>六、同じような意味の言葉を三つ以上書いてみよう。(類似) 例 わらう・・・ほほえむ、爆笑する、ほくそえむ ・彼は、何かにとりつかれたかのように、夢中 天氣をたとえを使って書いてみましょう。</p> <p>○ 空が泣いている。 ・空がおこっている。</p> <p>自分で問題を作つてみよう。</p> <table border="1"> <tr> <td>少ない</td> <td>少し</td> <td>少量</td> <td>ちょっと</td> </tr> </table> <p>① 話す　ささやく・会話する・しゃべる ② 多い　たくさん・いっぱい・大量</p>	少ない	少し	少量	ちょっと
少ない	少し	少量	ちょっと			
二 4	<p>俳句のもとになる短文をつくってみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の意味や使い方が適切であるかどうかを考えさせ、言葉の使い方についての意識を高める。</li> <li>俳句の約束として「季重なり」について説明し、重複する表現は省略することを助言する。</li> <li>問題を解き終えた児童には、例題を基に問題を作成させ、言葉の使い方についての理解を深めさせる。</li> </ul>				

		<p>1 大きな視点から短文を書く。 2 小さな視点から短文を書く。</p>	きるだけ詳しく短文を書かせる。
二	5	<p><b>短文をもとに俳句をつくろう。</b></p> <p>1 読む人に一番伝えたいことと季語を七音か五音にあてはめる。 2 組み合わせを考えながら、適切な言葉を選ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短文から俳句をつくる手順を説明する。</li> <li>・七音と五音の言葉を複数考えた上で情景や気持ちを表すのに適切な言葉を選ぶよう指示する。</li> </ul>
二	6	<p><b>俳句を推敲して、よりよい表現をさがそう。</b></p> <p>1 評価表の観点に沿って俳句を推敲する。 2 グループで推敲する。 3 清書をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互評価を円滑に進めるために、評価表の観点について、教師が例を示しながら確認する。</li> <li>・表現が適切であるかどうかを考えることが大切であり、表現を変えなくてもよいことを確認する。</li> </ul>
三	7	<p><b>句会を開こう。</b></p> <p>1 句会を開く。</p> <p>①全員の作品が書かれたプリントの中から、作品を一つ選ぶ。 ②選んだ理由を書き、投票する。 ③選んだ理由を発表する。 ④教師が選んだ作品を紹介する。</p> <p>2 事前に書いた俳句を推敲する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・句会では名前を伏せ、投票の際には必ず選んだ理由を書かせる。</li> <li>・教師が選んだ作品を紹介することにより、今後の俳句づくりの視点を示す。</li> <li>・前時と同じワークシートと評価表を用いて事前に書いた俳句を推敲させ、学習内容の定着を図る。</li> </ul>

## 言葉を知ろう クイズ その一

番名前

一、俳句は十七音の詩です。では、次の言葉は何音でしょう。

- ① あひる ( 音 ) ② 犬 ( 音 ) ③ そつと ( 音 )  
④ 電車 ( 音 ) ⑤ お父さん ( 音 ) ⑥ ラグビー ( 音 )  
自分で問題を作つてみよう。

二、□の中に言葉を入れて俳句を完成させましょう。

- ① さみだれを 集めて早し □□□□□ 松尾 芭蕉  
② 日焼け顔 見合ひてうまし □□□□□ 水原秋桜子

ヒント ①川の名前が入ります。 ②食べ物が入ります。

自分で問題を作つてみよう。

三、意味のちがいが分かれますか。

- ① ア 弟が食べました。  
イ 弟は食べました。  
② ア 校庭を走りました。  
イ 校庭も走りました。

自分で問題を作つてみよう。

四、次の俳句で、「ほたるが、光りながらあちこち飛びかっている感じ」が一番よく出ているのは どれでしょう。

- ア 米洗う 前にほたるの 一一つ三つ  
イ 米洗う 前へほたるの 一一つ三つ  
ウ 米洗う 前をほたるの 一一つ三つ

ヒント ほたるが目の前で止まって光っている  
ほたるがむこうから飛んできてる光っている

# 言葉を知ろう クイズ その一

## 番名前

- 五、たとえを使った文を二つ書いてみよう。  
例・・・天使のような笑顔で、母は、ほめてくれた。

たとえを使つた文を二つ書いてみよう。  
例・・・天使のような笑顔で、母は、ほめてくれた。

友達が走って来る様子を想像を使って書いてみましょう。

方気をだと筆を使へて書いてみまし。

六、同じような意味の言葉を二つ以上書いてみよう。（類義語辞典を使つてもいいです。）  
例 わらう・：：：まほえひ、暴笑する、ほくそえい、微笑、大笑、こがわう、

依頼者へは、  
いにしへ 燐笑へ  
いくやうむ 微笑へ  
いかれい

①

自分で問題を作つてみよう。

七  
「春・夏・秋・冬」という言葉を使わないで季節を表す言葉を五つ書いてみよう。  
(歳時記を使ってもいいです。)

冬 · · · 秋 · · · 夏 · · ·

俳句の約束

五七五の十七音でつくる。

季語を入れる。

季語を二つ以上重ねない。

例 夏の夜 今日も暑いな

切れ字（や・かな・けり）

列傳七  
や生

例 例 例  
けりかな  
赤とんぼ 筑波に雲も なかりけり

松尾芭蕉

伊甸の約束

五語十七の十七音で

季語を力れる。二重四字。

季語を二つ以上重ねたのである。

例 夏の夜 今日も暑いな

切れ字 (や・か・な・けり)

例や古池やかわす

例：かなをりとりては

例  
けり  
赤とんぼ  
筑波

## 俳句を作ろう

番名前

俳句にしたいことを おおまかに書いてみよう。 いつ・どこで・だれが・何をした

(例 日曜日、近くの公園に兄と散歩に出かけた。)

その時のことと思い出して、様子を「まかく書いてみよう。  
どのように・目耳鼻で感じたことは・発見したこと

例

- ・落ち葉をふんだら、「カサツ」と小さな音がした。
- ・歩くたびに音がしておもしろかった。
- ・風に吹かれてすすきがゆれていた。
- ・木にはまだたくさんの葉がついていた。

その時の気持ちを  
書いてみよう。  
例 うれしかった。  
気持ちよかったです。

季節を表す言葉を書いてみよう。(いくつか書いてみましょう。)

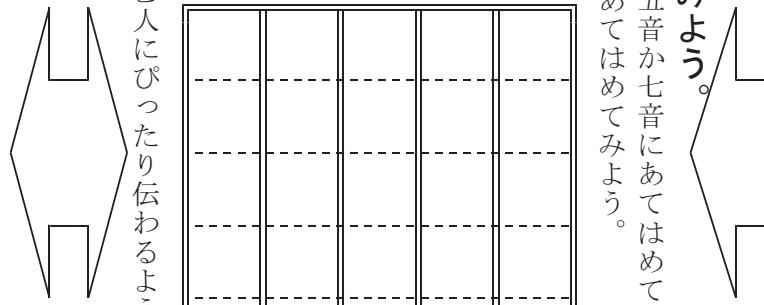
俳句にしてみよう。

その三 伝えたいことが、読む人にぴったり伝わるように、五音か七音の言葉をあてはめて俳句にしよう。



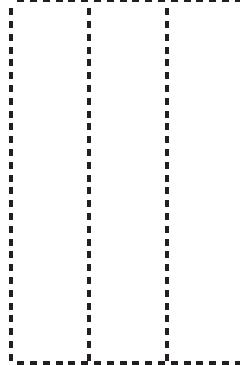
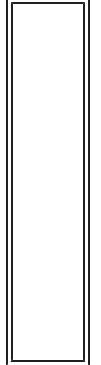

短文を五音と七音にしてみよう。

その一 一番伝えたいことを五音か七音にあてはめてみよう。  
その二 季語を五音か七音にあてはめてみよう。

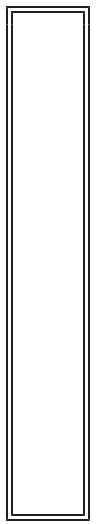
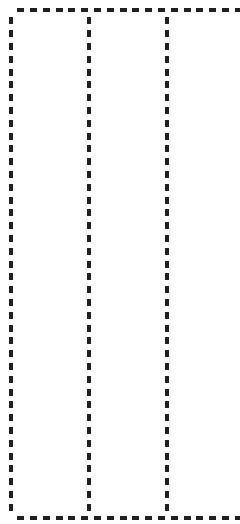


俳句をすいこうしてみよう。

前



後



評価表  
番名前

自評価  
目にそつ  
てしよう。  
ソク

○  
しよう。で評価  
さん

○  
しよう。で評価  
さん

さんから  
さんから

評価した人は、気がいたことを書いてあよう。

いくつかの言葉の中から、もとの短文の意味に合う言葉を選んでいるか。  
季節を表す言葉が入っているか。  
五七五にあてはまっているか。

同じ意味の言葉はできるだけ省いて  
いるか。(季語は一つ。)

言葉のひびきを大切にしているか。

### お助けカード

友人の俳句を「い」うしてみよう。

前



後



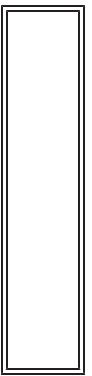
さんから

評価した人は、気がついたことを書いてあ よう。

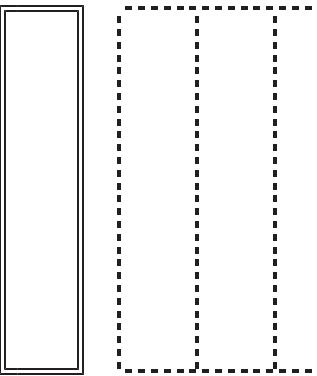
### お助けカード

友人の俳句を「い」うしてみよう。

前



後



さんから

評価した人は、気がついたことを書いてあ よう。